

横芝の碑 (その三十五)

〈坂田池農用水利の功を刻む〉

学校の夏休みも終りに近い八月下旬、齋藤社教主事に紹介された、という女子高校生が老人ホームに訪ねて来ました。目的は、学校の文化祭の作品として、附近町村等の民話や伝説を聞かせて欲しい、ということでしたので、とに角室に通して、かねて皆さん方から御協力を戴いて、広報に掲載した記事等と話してあげた後、折角の来訪だから、と老人ホームの中を見学してもらいました。老人ホームの裏は、すぐ坂田池になっていて、いま蓮の花が最盛りです。

「素的ですね、水蓮ですか？」
「見事でしょう」と得意になりながら坂田池の説明をしていますと、「この蓮は坂田城のあった頃からのものでしょうか？」という質問があり、はた、と行詰ってしまいました。そして、何時か、この池を利用して完成させた耕地整理の記念碑を取材したことを、おぼろげに思い出したので、「昔から生えていたようですね、でもこんなに美事ではなく、こんなに美事に沢山咲くようになったのは太平洋戦争以後のことらしいですね」と辛うじて答え、家へ戻ると早速その資料を探し出したのです。小塊方面から上って来た多古街道が坂田城址の丘を囲い終って、

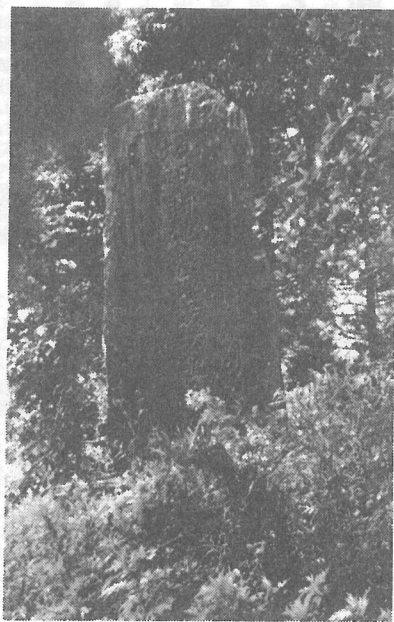
坂田池に差しかかりますと、丁度丘との間を仕切る様にして松尾方面に通ずる道路があります。そして、この道に入ってすぐ右手を見ますと、常緑樹の大木の下に、忘れ去られたように、ひっそりと建っている碑に気が付きます。この碑は、坂田池を利用して施行された耕地整理完遂の記念碑です。坂田池の前備えとして人口に膾炙され、戦争史の坂田沼は、実は附近百町歩に近い水田に、欠くことのない灌漑用水の溜池としての使命を果しているのです。記念碑の碑文によれば

坂田池に差しかかりますと、丁度丘との間を仕切る様にして松尾方面に通ずる道路があります。そして、この道に入ってすぐ右手を見ますと、常緑樹の大木の下に、忘れ去られたように、ひっそりと建っている碑に気が付きます。この碑は、坂田池を利用して施行された耕地整理完遂の記念碑です。坂田池の前備えとして人口に膾炙され、戦争史の坂田沼は、実は附近百町歩に近い水田に、欠くことのない灌漑用水の溜池としての使命を果しているのです。記念碑の碑文によれば

大総村東南に池沼アリ坂田沼ト称す面積四十五町歩余寺方、於幾曾根合、坂田ノ入会地ナリ天和二年之ヲ改修シテ相互用水溜ト為ス爾来歳ヲ閱スルコト二百三十有余泥土堆積荒蕪地二十余町歩二巨リ貯水僅々尺余ニ満タス故ニ灌漑地域タル九十余町歩水田亦年々早魃優ルヲ免レス有志ノ士即チ耕地改良ヲ図ラントシ之カ計画ヲ千葉県庁ニ請ヒ百難ヲ排シテ事業遂行ニ努ム而シテ改良ノ目的ハ沼ノ一部ヲ開拓シテ二十有余町歩ノ美田ト為シ他ハ之ヲ浚渫シテ更ニ用水機ヲ設ケ水路ヲ開鑿シテ灌漑立ニ排水ニ便ナラシメ新ニ農道ヲ設ケ田区ヲ整正シ農業ノ管理経営ニ資セ

シムルニアリ而シテ起業以來三ヶ年有余ノ星霜ト三万二千二百余円経費トヲ投シクソ期ノ目的ヲ達成シタリ之実ニ有志共同力行ノ致ス賜ニシテ大正聖世村振興ノ美筆トス此ニ有志奮謀リ之ヲ後昆ニ伝ヘントシテ之ヲ余ニ囑ス余衷心其挙ヲ喜ヒ不文ヲ省ニス乃チ梗概ヲ叙ス云爾、大正十一年一月千葉県耕地整理課長山中謙輔附記、大正十一年十一月七日 坂田耕地整理組合設立認可、大正四年八月十日 工事着手、大正四年八月二十五日 工事完了、大正九年一月二十六日、換地交付処分認可と刻まれています。

最初の改修が行なわれた、と記されている天和二年といいますが、江戸幕府が、農家に対して、分地制限令を発してから十年と経っていないなかつた筈ですから、随分古い話になります。「大総の米は美味しい」といわれますが、その底には三百年に及ぼうとする、歴代先覚者の精進と努力があったことを忘れてはならないと思います。

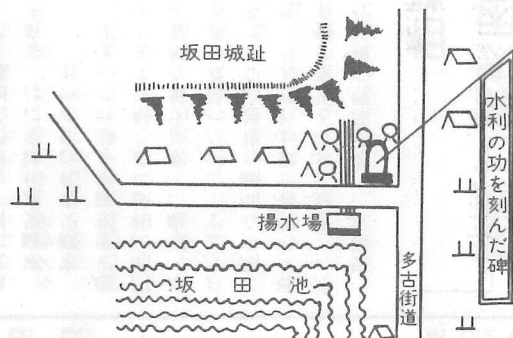


○写真はその碑で、多古街道に向って建っています。脊面には、前記碑文が刻まれ、表面には、坂田耕地整理竣工記念碑、千葉県知事折原巳一郎書、と肉太な文字が刻まれています。

尚、碑の取材は半年程前に行つたのですが、その時いろいろと御指導いただいた、坂田の実川堅司郎さん(当時教委、現町議)を再びお訪ねしました。その時、実川さんは、蓮の花と坂田池のことについて

「私の子供の頃は、池の水がきれいに澄んでいて、天気の良い日には池の底の岩板が見える位でした。大体坂田の池は底が岩板なのです。その頃は、池の周囲の水路は総て坂田池に流れ込み、そして、両国方面の用水路や、記念碑の傍の揚水機場を通じて、各水田に灌漑されたものです。従って、池の水は、始終流れていたもので、底もきれいに洗われていた訳です。蓮の花は池の端や、分岐された溝等には咲いていましたが、いまの様

に池一面に咲く様になったのは、終戦後、それも両総用水が完成してからですね、両総用水が完成してからは池の水も流れが止り、水草の枯れたのや、水鳥の排泄物等が堆積して、蓮の根が伸び始めたのでしよう。いまの蓮の観景も結構ですが、あの記念碑が建っている辺りから、満々と湛えられた坂田池の美しく澄んだ水面を眺望した風景はいまでも忘れられませんね。」と、しみじみと話してくれました。実川さんのお話を辞しての帰路、改めてこの碑の傍に佇みながら実川さんのお話を心の中で復唱して見ました、そして、この坂田池が、再度水資源開発の舞台で脚光を浴びよう、として、この語らざる碑に、何か無限の歴史が感じられるのでした。



に池一面に咲く様になったのは、終戦後、それも両総用水が完成してからですね、両総用水が完成してからは池の水も流れが止り、水草の枯れたのや、水鳥の排泄物等が堆積して、蓮の根が伸び始めたのでしよう。いまの蓮の観景も結構ですが、あの記念碑が建っている辺りから、満々と湛えられた坂田池の美しく澄んだ水面を眺望した風景はいまでも忘れられませんね。」と、しみじみと話してくれました。実川さんのお話を辞しての帰路、改めてこの碑の傍に佇みながら実川さんのお話を心の中で復唱して見ました、そして、この坂田池が、再度水資源開発の舞台で脚光を浴びよう、として、この語らざる碑に、何か無限の歴史が感じられるのでした。